

戦後の高度経済成長は、日本人と日本の風景を一変させ

ました。街は「ファースト風土」と化し、地域独自の固有

の長所というものが消え、均質化された街並みはどこか見分けのつかない風景ばかり。

自動車の隆盛により、住居間のアクティビティを失った地域では、様々な要因とともに、子どもたちの姿は見えません。

さに気が付き出した今、住宅夢工房はその課題に真正面から取り組んでいます。

「所詮住宅は『nLDK』じゃないか」と有名な建築家が言っ

たことがあります。世帯構成が激変した今は状況が違います。

世界で一番感性が優れていると言われた日本人。それをもう一度取り戻す役割を住まいづくりは担っていると考えます。なぜなら、感性の豊かさとは時間を充実させてくれるからです。

さらに、ハウスメーカーは街をつくってはきませんでしたが、それを担えるのは、地域密着の工務店。確かな技術で人と自然にとって快適な

「創っては壊し」の連続だった住宅業界。その中で、これからのディファクトスタンダードとして、住宅再生プロジェクト「新築こえるくん」を完成しました。

北海道の気候特性を活かしたパッシブ換気と床下暖房。さらに、日本でトップと言われる北方型住宅エコプラスを超える温熱環境。時間と空間を考慮し、創ったものを消費させるのではなく、住まい手と共に、一緒に考え作り上げ

する日々が続いているようでもあります。しかし、困難は

組みで解決することも一歩前進しただけでなく、容認から積極的支援に変換しています。働きながら自己実現を目指す。指せる国にいる私たちは本当に幸せな立ち位置にいるのだと思います。

課題先進国という言葉さえ、私たちの脳を刺激し、成長させてくれる非常にポジティ

基本的には、どのような仕事であってもその仕事の意義を見つけ出し高める姿勢が大切です。その上で次のような人材を求めます。

① 社会変革を目指し、既成の価値観に縛られず、起業意欲に燃えたリーダーシップを発揮することで、自己実現を計りながら成長のスパイラルを

ということを示したいのです。

公共事業や大企業の下請け
でしか生きられないと考える

北海道人。買ったたかれる一

次産業の人たちにとっても、地域企業が生きる見本としての企業活動を行っていきたい。そのためには、ITを使っている分野でのイノベーションを起こし、知恵のネットワーク構築による起業家のグループによる経営の継続の担保を計りたいと考えます。

③特筆すべきCSR活動…北海道の気候特性を活かした

る作業は、住まい手の空気に対する意識や、住居そのものの価値観さえ変えます。全ては意識変革のために。

宗教の時代・国家の時代・

經濟の時代を経て、技術の時代（坂本賢三…先端技術のゆくえ）を生きている私たちには、確固たる哲学がありません。

今までとは比べ物にならない程の変化の激しい潮流に竿

づな表現でもあります。既存
知の枠組みを超えた様々な知
見をもつてすれば解決できな
い問題もないと考えます。

住まいづくりも同じです。

住まいを単なるハードとしての家ととらえるか、家族する場として視点を当てるかで全く別なものになるのです。

さらに、あふれる情報をど
うつなぎ、編集していくかは
これからの社会で生きていく
には欠かすことのできない条
件ですが、本当に重要な情報
はまだまだ簡単に私たちには

② 目的に向けて目標設定をして、実効性のある計画を立てられるタイプ

③ 決められた計画を効率的に且

効果的に実行できるタイプ
④感情のコミュニケーション能力に優れた組織内調整タイプ

ただし、右記のいずれかの可能性を秘めた社員が新たなビジネスモデルを創り出す人材に成長できる環境をいかにつくるかは会社の責任でもあると考えます。